

第46回 若松区青少年健全育成大会 における意見発表を受けて

高稜高等学校 校長 浦野 浩一

まず、初めに、今回このような大きな舞台で臆することなく

堂々と自分の意見を発表した9名の生徒諸君に心からの称賛を送りたいと思います。あわせて、今回の発表に際し、ご指導いたいた各学校の先生方に深く感謝申し上げます。

それではそれぞれの発表について簡単に講評を述べさせていただきます。

①まず、最初に石峯中学校 森本 結稀さんが発表した「本からもらった踏み出す勇気」についてですが、森本さん本人の内気な性格を克服した経験を、一冊の本との出会いを通じて、感動的に、そして力強く語っている点が素晴らしいです。読む人に勇気を与え、本を手に取ることの喜びを再認識させる心に響く内容でした。この発表が、多くの人にとって、本との出会いや、一步を踏み出す勇気を持つきっかけとなることを願っています。

②つぎに一島中学校 加治屋 陸さんが発表した「朝のスタート」についてですが、円滑なコミュニケーションを図るために朝のあいさつ運動やいじめのを目指すオレンジリボン運動など、よりよい学校生活や人間関係の改善を目的とした取組みが非常にわかりやすく、具体的かつ情熱的に述べられており、その活動の意義がきちんと伝わってきました。発表にもあつたよう、挨拶によってみんなが心の平静を保ち、よりよい人間関

係を築ける社会になることを願いたいと思います。

③つぎに高須中学校 緒方 葉菜さんが発表した「私を変えた挨拶」についてですが、具体的な経験に基づくエピソードを交えながら発表されたので、その意見に共感できるとともに、挨拶の重要性がきちんと伝わってきました。特に「友達が、いつも朝一番に笑顔で、大きな声でおはようと挨拶する」という描写は、挨拶のポジティブな効果を視覚的に伝えていて、「挨拶は人々の心を明るくする力を持つ」という前向きなメッセージがより具体的に伝わってくるいい発表でした。

④つぎに向洋中学校 柴田 真毅さんが発表した「将来なりたい大人」についてですが、「将来なりたい大人」というテーマに対して「どんなことがあっても最後まで諦めない心をもつた大人」と明確に提示して、河村勇輝選手を例に挙げながら論理的かつ具体的に説明しており、非常にわかりやすく説得力がある発表でした。この発表を通じて多くの人が、「理想の大人」について考えるよい機会になることを期待します。

⑤つぎに若松中学校 迫田 日菜子さんが発表した「未来につなぐためにできること」についてですが、地球温暖化という、私たちの生活に深くかかわる重要なテーマについて、具体的なデータや事例を交えながら、課題と解決策を具体的に提示しており、たいへん説得力のある発表にまとめられていました。特

に、地球規模の大きな問題を自分自身の課題としてとらえ、正直に語っている点は、発表に人間的な温かみが感じられ好感を持てました。この発表により、多くの人が環境問題を考えるきっかけとなることを願っています。

⑥ つぎに洞北中学校 大田 悠翔さんが発表した「出会いに感謝して」についてですが、あいさつという身近なテーマから、人と人の繋がり、そして感謝の気持ちまでを深くほり下げるべり、日常の小さな行動に込められた大きな意味が表現されたとても心温まる素晴らしい発表でした。特に挨拶に対する自身の気持ちの変化を素直に語っている点がとても好感が持てました。この発表が、多くの人にとって日々の挨拶を見つめなおし、感謝の気持ちを育むきっかけとなることを期待します。

⑦ つぎに若松高校 福田 悠里さんが発表した「心を拓き、心を繋ぐ」についてですが、テーマの「挨拶」を「心を拓き、心を繋ぐ」という言葉で表現している点がとても魅力的で、発表者の温かい人柄が伝わってくる表現だと感じました。そして語られるエピソードは発表者の具体的な実体験に基づいており、説得力がありました。さらに挨拶の持つ力を、地域とのつながりという大きな視点に広げ、災害時や防犯と言った現代的な課題に結び付けている点は素晴らしい、発表が単なる主張ではなく、行動を促す力を持つていると感じました。

⑧ つぎに若松商業高校 蒲生 七海さんの発表した「動物との共生、今私にできること」についてですが、まずはその真摯な探求心が発表全体を見て取れました。そして発表のテーマを自校のスローガンである「限界を超えるすべてはその一步から」に結び付け、具体的な行動から話を始めており、大変説得力の

ある内容となりました。個人的な意見で恐縮ですが、私も保護犬、保護猫たちと暮らしており、日頃から心を痛めている問題だつたので、この問題を取り上げていただきたいへんありがとうございました。この発表が社会全体で動物との共生について考えるきっかけとなることを期待しています。

⑨ 最後に高稜高校 櫻井 湊仁さんが発表した「人を繋ぐおはよう」についてですが、自身の幼いころの経験から「おはよう」というあいさつの持つ意味を深く掘り下げ、さらに地域社会の温かさへ話を広げている点が素晴らしい、発表者の温かい人柄や故郷を大切に思う気持ちが伝わってきました。特に挨拶を「存在証明」と捉え、さらに気持ちの込められた挨拶と、うわべだけの挨拶を比較しながら、挨拶の持つ「表情」について論じることで哲学的な考察にまで高め、最終的には地域への愛情へとつなげた展開は見事でした。この発表が皆にとって「挨拶」の持つ意味を再考するきっかけとなると確信しています。

は「愛」ではなかつたでしようか。人や動物をも含めた他者への愛、地域への愛、地球環境への愛、そして自分自身への愛、人は人として生きる限り、外的な環境すなわち他者や地域社会、そして地球環境と何らかの関係をもつて生きざるを得ません。その時にその関係性をより心穏やかな居心地の良い安定へと向かわせるのは「愛」であると考えます。今日は生徒たちの発表を通してそれを感じることができ、大変穏やかなそして未来に對して希望の持てる時間を過ごさせてもらいました。本当にありがとうございました。

第46回若松区青少年健全育成大会



二島中学校二年
田中 雄真

市民憲章唱和



若松中学校三年
重松 直希



若松中学校三年
堤 奏颯

司会

若松中学校三年
平野 大知



若松高校
書道部

★北九州市 子どもを育てる10か条★

- ◇ 朝は明るく笑顔で「おはよう」
朝の挨拶から始まる親子の会話、地域の絆。大切ですね。
 - ◇ 家族にも「ありがとう」と「ごめんなさい」
親しい仲ほど、忘がちな言葉。素直な気持ち、伝えよう。
 - ◇ 子育ては 誉める・叱る・見守る・抱きしめる
どれかひとつが欠けても、うまくいきません。
 - ◇ 聞く時は 子どもの目を見て 心を聴いて
心の中の「本当の声」に、気付いていますか？
 - ◇ 食事が楽しみな家庭にしよう
いっしょがうれしい。愛情がおいしい。
 - ◇ 大切にしたい 物より体験
お金では買えない「体験」を、子どもの時から。
 - ◇ まず親が きちんと実行 社会のルール
親の背を見て子は育つ、と申しますから。
 - ◇ 声かけて 地域の宝 子どもたち
誉めたり叱ったり認めたり。わが子と同じ愛情をもって。
 - ◇ 教えよう 平和といのちと助け合い
世界の話、地球のいのち、いっしょに考えよう。
 - ◇ 子どもと夢を語り合おう
夢を持つ、実現しようがんばる。成長の原点です。



北九州市民憲章

わたしたちのまち北九州市は、美しい自然に恵まれ、ながい歴史とたくましい産業をうけついできました。

わたしたち北九州市民は、このまちを愛し、よりいっそうの市民参加によるまちづくりをめざしています。

このふるさとに、実りある未来を築くため、わたしたちは、みんなで守る約束を定めます。

緑を豊かに 清潔で美しいまちにします
きまりを守り 安全なまちにします
人を大切にし ふれあいの輪をひろげます
元気で働き 明るい家庭をつくります
学ぶ楽しさを深め 文化のかおるまちにします

第46回 若松区青少年健全育成大会

中学生・高校生意見発表文集

編集 / 発行

若松区校区青少年育成協議会連合会
(若松区役所コミュニティ支援課内)

〒808-8510 若松区浜町一丁目1番1号

TEL(093)761-5324・FAX(093)761-3490